

2011年9月15日

基幹業務パッケージ「TENSUITE」がスマートフォンに対応

中国向け在庫数管理モデルから対応を開始

株式会社日立情報システムズ（取締役社長：原 巖、本社：東京都品川区大崎、以下 日立情報）は、製造業・卸売業向け基幹業務パッケージ「TENSUITE（テンスイート）」と中国向け「『TENSUITE』在庫数管理モデル」にスマートフォンに対応した機能を追加し、提供を開始します。

まず、中国向け「『TENSUITE』在庫数管理モデル」のスマートフォン対応機能を本日から提供し、「TENSUITE」のスマートフォン対応機能を11月1日から提供を開始する予定です。

「TENSUITE」は、業務の効率化やビジネスプロセス再編などを支援する販売管理、生産管理主体の基幹業務パッケージです。国内の製造業・卸売業を中心に、今まで3,000システム以上の導入実績があります。一方「『TENSUITE』在庫数管理モデル」は、正確な実在庫数の管理機能を備える中国市場向けのクラウド型サービスです。在庫管理を行う幅広い業種で利用することが可能で、2011年4月のサービス開始以降、着実に導入実績を積み上げています。

外出先からスマートフォンを通じてシステムを利用したいというニーズが日本、中国で強まっていることに応じ、このたび日立情報では「TENSUITE」のスマートフォン対応機能を開発し、「『TENSUITE』在庫数管理モデル」から提供を開始します。

「『TENSUITE』在庫数管理モデル」には、在庫照会と商品照会をスマートフォンから行える機能を追加します。また「TENSUITE」には、在庫照会、商品照会に加え、単価照会、決裁管理をスマートフォンから行える機能を追加します。これにより、外出先からスマートフォンを通じて在庫状況や単価をタイムリーに確認できるほか、受発注の情報を一覧形式で表示して確認・決裁することが可能になり、ビジネスチャンスを逃さない経営と業務のスピードアップを図ることができます。

「『TENSUITE』在庫数管理モデル」は、パートナー企業である広東華智科技有限公司（代表者：梅 傲寒、本社：広東省広州市）より、標準価格である基本構成（2倉庫、5ユーザまで）で月額2,000RMB（約25,000円）から提供します。「TENSUITE」では、パッケージ提供価格のオプションサービスとして提供する予定です。

日立情報では、両製品のスマートフォン対応機能を順次拡大していく予定です。また、外出先での入力利便性を考慮し、将来的にはタブレット端末にも対応する予定です。こうした機能強化により、販売目標として「TENSUITE」では3年間で100社以上、「『TENSUITE』在庫数管理モデル」では3年間で500社以上に対する提供を目指します。

< 関連 Web サイト >

TENSUITE : <http://www.tensuite.jp/>

TENSUITE 在庫数管理モデル クラウド型サービス : <http://www.whizen.com/jp/tensuite.html>
（中国向けのクラウドサービスである「『TENSUITE』在庫数管理モデル」は、日立グループのクラウドソリューション体系である「Harmonious Cloud」のひとつです）

< お客さまからのお問い合わせ先 >

商品問い合わせ窓口

お問い合わせ Web フォーム : http://www.hitachijoho.com/solution/form/tensui_ask.html

< 報道機関のお問い合わせ先 >

CSR 本部コーポレート・コミュニケーション部 松林、杉山

TEL 03-5435-5002（ダイヤルイン） email : press@hitachijoho.com

< 中国におけるパートナー企業 >

広東華智科技有限公司 代表者：梅 傲寒、本社：広州市科学城彩頻路

<http://www.whizen.com/jp/index.html>

以上

* Harmonious Cloud は、株式会社日立製作所の登録商標です。(<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>)

* 記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。